

課題名：家族性大腸腺腫症 (FAP) に発生する多発大腸ポリープに対する積極的な内視鏡的切除 (IDP) における低出力純切開波スネアポリペクトミー (LPPC) の安全性に関する研究 (単施設前向き観察研究)

## 1. 研究の対象

【対象】家族性大腸腺腫症と診断されており、2021 年 1 月～12 月および 2023 年 6 月以降の期間に当院で多発大腸ポリープに対して内視鏡治療を受けた方

## 2. 研究目的・方法

【目的】家族性大腸腺腫症に発生する多発大腸ポリープに対する積極的な内視鏡的切除における、低出力純切開波スネアポリペクトミーの安全性を明らかにすることです。

【方法】大腸ポリープを内視鏡切除する際に低出力純切開波を用いてポリペクトミーを行い、偶発症の発生頻度等を調べます。

【期間】研究実施許可後から 3 年間

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、大腸内視鏡治療(切除個数や検査時間等)、病理組織診断、偶発症 等

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>  
大阪国際がんセンター 消化管内科科 谷 泰弘

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：消化管内科 七條 智聖

-----以上